

委員長 八木 信一
任命サレタル十一名ノ委員ハ別室ニ於テ審査シタ結果左記ノ通りデアリマス

- 日本海員組合 一二名 日本労働總同盟 一〇名
- 全國労働組合同盟 一名 日本労働組合總聯合會 九名
- 海員協會 九名 日本港湾従業員組合聯盟 八名
- 官業労働總同盟 四名 日本労働總聯盟 五名
- 東電従業員組合 一名 東京瓦斯産業労働組合 二名
- 日本製鐵従業員組合 三名

計 七四名

一、祝 辭

社會大衆黨代表 田 万 清 臣

概 要

先程米窪警記長ヨリ一般情勢報告ニ於テ詳細ニ涉ツテ述ベラレタノデ續々申上ゲルコトヲ必要トシマセンノデ左ノ三ツヲ述ベ祝辭ニ代ヘタイトテ

一、日本ニ於ケル經濟界ノ恐慌、政局ノ不安ハ益々不安ヲ加ヘ無産政黨ノ社大黨トシテ政策ヲ樹立シ行動セネバナラナイ一糸亂レザル組合運動ノ協力ヲ願ヒタイ

二、過去ノ經歷ヲ省ミテ無産政治運動ノ財政確立ヲ期サネバナラナイ

三、黨ノ運動方針デアルガ労働組合ニハ戰線統一ガアリソレガ黨ニ反映スルノデアルカラ一步ヲ進メ産業別整理ヲ望ミタイ
將來ニ於テ政權樹立スルヤ否ヤハ之ニヨツテ定マルノデアルカラ全面的ニ猛進サレムコトヲ望ム

一、祝 電

社會大衆黨本部
官業労働總同盟